トレッキングブーツをご使用の皆様へ
お知らせとお願い

トレッキングブーツに使われている ポリウレタンミッドソールで、[経年劣化による破損]が起きています。

トレッキングブーツの中で、ミッドソールにポリウレタンを使用した製品において、ポリウレタンの経年劣化によってミッドソールの破損がおきる可能性がありますので、使用後のお手入れや保管方法を取扱説明書に従っておこなってください。またご使用前には安全確認を取扱説明書に従って、必ずおこなってください。

ポリウレタンは、軽量で耐摩耗性に優れており、適度な衝撃緩衝性を持っているために、登山靴やトレッキングブーツのミッドソールに多く採用されています。

しかし優れた性質を持つポリウレタンミッドソールも、その使用頻度や保管状態によって性質が劣化して、突然靴底がはがれたり、破損してしまう場合（写真Ａ）があります。一般的には製造後5年程度がその寿命とされていますが、その使用頻度や、お手入れの方法、保管状態によっては寿命が短くなることがあります。

底がはがれたり、破損してしまったりする多くの場合は、ウレタンのミッドソールの経年劣化（年月とともに強度が低下する現象）で、その経年劣化は温度や湿度が主な原因となって起こるものです。

安全な山中歩行のために、ご使用の前にはトレッキングブーツの安全確認を必ず行ってください。万一、山行中に靴底がはがれたり、破損が生じた場合には、紐（写真Ｂ）やテープ（写真Ｃ）で応急処置をして速やかに下山してください。破損したトレッキングブーツのままでの山中歩行は事故の原因となる等、身体・生命に重大な危険を及ぼす可能性があります。

使用上・保管上の注意点

① 使用前の点検：
ミッドソールやトレッキングブーツ本体、フック、D環等に異常がない事を点検してください。特に靴底は屈曲を繰り返してひび割れ等の異常が発生しないか確認してください。長期間使用していないトレッキングブーツは特に入念に安全確認作業をおこなってください。異常があった場合には絶対に使用しないでください。

② 靴底の貼り替え:
耐用年数を経過しているトレッキングブーツについては、靴底が減っていなくてもご使用にならずに、靴底の貼り替え（靴の製法等により靴底の貼り替えができない場合があります）や買い替えをお願い致します。

③ 使用後の手入れ：
トレッキングブーツを使用された後には、外側や靴底を水洗いして、土等の異物を除去してください。その際、インソール（中敷）をトレッキングブーツから抜き出してトレッキングブーツとは別に水洗いをしてください。洗った後はタオル等で水気を取ってください。乾燥は、風通しのよい場所で十分に日陰干をした後に、トレッキングブーツには素材に応じた（保革油やはっ水スプレー等）メンテナンスを施してください。

④ 保管方法：
通気性の良い（風通しの良い）場所で、ビニール袋等によって密閉をしないで保管してください。高温多湿になる場所（ベランダや物置や車のトランク等）はもとより、押し入れや靴箱等で保管される場合であっても、定期的に風通しのよい場所で陰干しをしてください。

⑤ その他：
詳細は商品のご購入時に添付されている取扱説明書をお読みください。
（不明の場合は取扱業者にお問い合わせください）。

日本スポーツ用品輸入協会
登山靴・トレッキングブーツ品質対策委員会